

## タイ参議院の来賓として 2021 年 1 月 3 - 6 日にタイを公式訪問したスイス連邦上院議長一行がチュアン国会議長を表敬訪問しました

2021年1月5日（金）の11:45時頃、国会議事堂本館2階にある205応接室にて、チュアン国会兼衆議院議長は、タイ参議院の来賓として2021年1月3から6日にかけてタイを公式訪問したアレックス・クプレット（H.E.Mr.Alex Kuprecht）スイス連邦上院議長一行による表敬訪問を受けました。一行は、チュアン国会兼衆議院議長のほか、スチャート・タンチャロエン（Mr. Suchart Tancharoen）衆議院第一副議長、イスラ・セリーワッタナウィット（Mr. Issara Sereewatthanawut）衆議院議員、ピグクエオ・ガイラク（Mrs. Pikulkaew Krairerk）参議院外務委員長、ヘレネ・ブディーガー・アルティダ（H.E. Mrs. Helene Budliger Artieda）駐タイ・スイス大使、衆議院議長政治作業部会の関係者、サディーチュト・タイピブンスック（Mrs. Steejit Taipiboonsuk）衆議院事務次長などと懇談と意見交換を行いました。

チュアン議長は、スイスやスイス国民について「私は他の国よりも親近感を持っています。タイ国王のラマ8世と9世がスイスのローザンヌにご滞在になり、教育を受けられながら幼少期・青年期をお過ごしになっていたことはその理由の一つです。自分自身は首相在任当時、政府側としてタイ・スイス両国の関係を強化し、交流の推進したり、連携協力協定などをいくつか考えたりしていました」と述べました。また、チュアン議長は、スイスの民主主義について「スイスでは、国家や自分たちに関わることの決定には、市民が国民投票といった形式で参加する権利を有するという民主主義を実行していることはたくさんの国にとって良い見本です。心より称賛します」と述べました。さらに、チュアン議長は、タイの政治体制について「タイにおいて、国王を国家元首とする立憲君主制である議院内閣制を採用する民主主義制度統治は何度も危機を迎えてきましたが、徐々に発展して強化されてきています。私自身が、特にずっと促進しているものの一つは法律の遵守です。それは法律の実効性や優位を確保しながら、不偏性や差別がなく法律を施行するためです」と述べました。最後に、チュアン議長は、「昔、国は法治国家原理及び法の支配理念に従わずに政策を実行していたことが、現在の政治において混乱などを引き起こす原因になったと思われます。そのため、国会はその問題を解決することができる」と、『バーナムアン・スチャリット（誠実な国）プロジェクト』を開始したのだと発言しました。

これに対し、クプレット議長は感謝の意を表すとともに、スイスとタイの関係の強化について「タイ国会においてタイ・スイス友好議員連盟が設立されたことにより、議員の交流を通して両国の関係をより一層深めることができるのではないかと思います」と述べました。

今回の会合を通して、立法機関である国会が長年にわたり成長してきた経済、政治、環境などの分野でのタイ・スイスの関係を引き続き強化することが確認されました。



表敬中の様子



免責事項：本サイトはタイ語からの翻訳版であり、情報公開・提供の目的のみとなっております。意味・文言に相違があったり、日本語版とタイ語版との間に不一致があったりする場合は、タイ語版が優先されます。



免責事項：本サイトはタイ語からの翻訳版であり、情報公開・提供の目的のみとなっております。意味・文言に相違があったり、日本語版とタイ語版との間に不一致があったりする場合は、タイ語版が優先されます。



免責事項：本サイトはタイ語からの翻訳版であり、情報公開・提供の目的のみとなっております。意味・文言に相違があったり、日本語版とタイ語版との間に不一致があったりする場合は、タイ語版が優先されます。





URL : (タイ語)

<https://web.parliament.go.th/view/7/%E0%B8%A0%E0%B8%B2%E0%B8%9E%E0%B8%82%E0%B9%88%E0%B8%B2%E0%B8%A7%E0%B8%A3%E0%B8%B1%E0%B8%90%E0%B8%AA%E0%B8%A0%E0%B8%B2/81758/parcy/TH-TH>

記事/編集:衆議院事務局 | 国会ラジオ・テレビ放送局 |

翻訳:衆議院事務局 | 外国語支援部 | 日本語通訳・翻訳担当課 | タウイット ミクワン (No.65-5)